能代市総合計画

まちづくり評価書

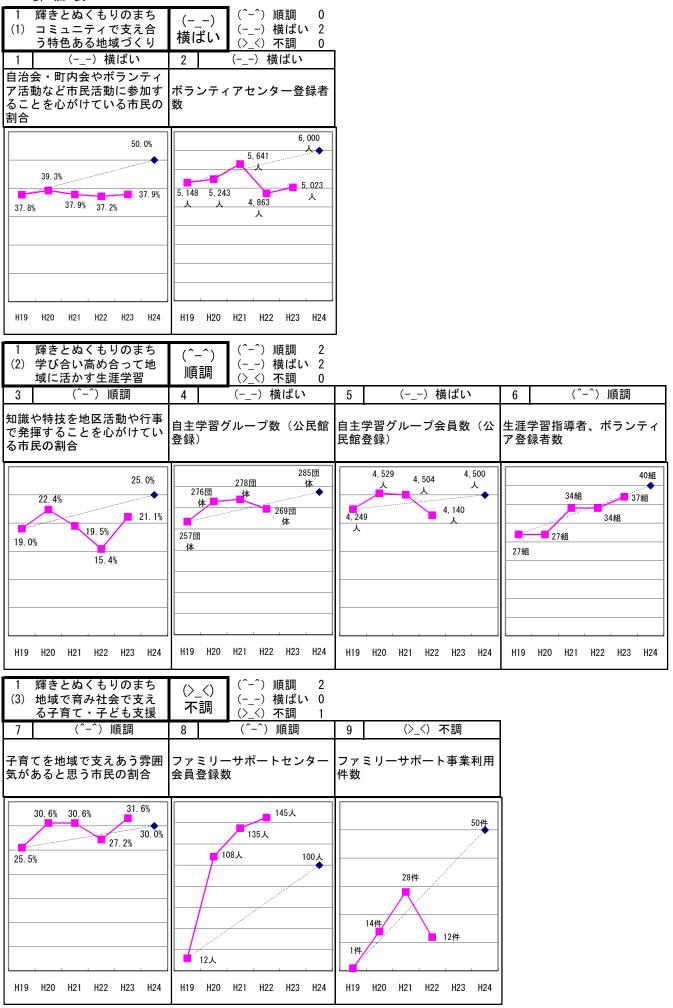
平成23年11月 能代市総合計画市民協働会議

1 総括表

基本目標		==	/TF	(^-^)	()	(>_<)
政策		計	価	順調	横ばい	不調
1 輝きとぬくもりのまち			(1 小計)	16 指標	13 指標	8 指標
(1) コミュニティで支え合う	特色ある地域づくり	()	横ばい	0	2	0
(2) 学び合い高め合って地域	に活かす生涯学習	(^-^)	順調	2	2	0
(3) 地域で育み社会で支える	子育て・子ども支援	(>_<)	不調	2	0	1
(4) 次代を担う子どもの成長	を支える学校教育	(^-^)	順調	3	0	0
(5) 子どもも大人も心と体の	健康づくり	(>_<)	不調	1	2	1
(6) 地域で活躍する元気な高	齢者	(>_<)	不調	0	2	2
(7) 地域で社会で自立する障	害者	()	横ばい	3	1	2
(8) ふるさとの誇りを受け継	ぐ文化・芸術	()	横ばい	1	4	1
(9) だれもが気軽に楽しめる	スポーツ	(^-^)	順調	3	0	1
(10) 認め合い支え合う社会づ	くり	(^-^)	順調	1	0	0
2 元気とうるおいのまち			(2 小計)	6 指標	10 指標	8 指標
(1) 環境を核とした活力ある	産業創出	()	横ばい	0	3	1
(2) 雇用を産み出す企業立地		()	横ばい	1	0	2
(3) 力強くて持続する農業		()	横ばい	2	1	0
(4) 山・川を生かす林業・木	材産業・水産業	(>_<)	不調	1	1	4
(5) まちのにぎわいをつくり	出す商業	()	横ばい	0	1	1
(6) 豊かな自然とその恵みを	活かす観光	()	横ばい	1	1	0
(7) 自然と共生し地域で支え	る環境保全	()	横ばい	0	2	0
(8) 資源を大切にし社会を持	続できる衛生環境	()	横ばい	1	1	0
3 安全と安心のまち			(3 小計)	13 指標	7 指標	5 指標
(1) 安全な暮らしを守る防災	• 防犯体制	(^-^)	順調	4	2	0
(2)機能的で利用しやすい道	路・交通ネットワーク	()	横ばい	2	1	1
(3) 効果的で調和のとれた土	地利活用	(>_<)	不調	0	0	1
(4) 快適で暮らしやすい住環	境	(^-^)	順調	4	0	0
(5) 安心でき健康を保てる医	療体制	(>_<)	不調	0	1	1
(6) 不安のない生活を支える	社会保障制度	()	横ばい	1	0	0
(7) 効率的で住民サービスに	資する行財政基盤	()	横ばい	2	3	2
	(^-^) 順調	6 分野	(24.0 %)	35 指標	(40. 7	%)
	() 横ばい	13 分野	(52.0 %)	30 指標	(34. 9	%)
	(>_<) 不調	6 分野	(24.0 %)	21 指標	(24. 4	%)
	合 計	25 分野	(100 %)	86 指標	(100	%)

^{*} 複数の指標を使用している同一の指標(3指標)については、政策分野により評価が異なるものがあるため、集計に加えた。 * 「評価なし」とした3指標は集計から除いた。

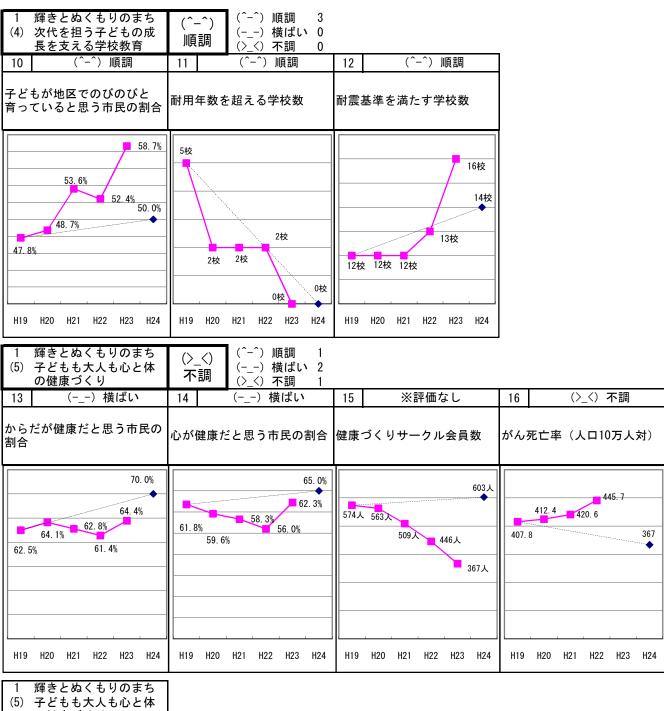
2 評価表



1 (1)	輝きとぬくもりのる コミュニティで支え う特色ある地域づく	え合 評	価理由	個人ボランティア 識は高くなっている	?を支える人がもっと必要だが、全体的にボランティアの覧 ると思われるため。 -
1	A R-+ A !! !\ = :	_ 2			
ア活	会・町内会やボラン 動など市民活動に参 とを心がけている市	加す ボ	ランティ	ィアセンター登録者	
高 にるラ	災なれ個と である である である である である である である である である である	:め :支え :、ボ	指標の推	生移による 。	

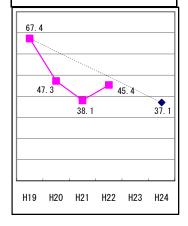
1 (2)	輝きとぬくもりのまち 学び合い高め合って地 域に活かす生涯学習	評価	理由	横ばいが2つ、ル	領調が	2つとなって	いるため。		
3		4			5			6	
で発	や特技を地区活動や行事 揮することを心がけてい 民の割合	自主:		ブループ数(公民館	自主:		会員数(公		・ 学習指導者、ボランティ 録者数
状況 め。 実	民の意識は向上しているにあると感じられるた 際の活動にむすびついて か検証する必要がある。	いるだ	が、活 ためて いる人	とべ数値は下がって 活動できる場所が増 活あり、実際に活動 、は変わらないと考		本数の減少に(少している。	半って人数	数 ⁴ ため。	値が順調に上がっている。

1 輝きとぬくもりのまち (3) 地域で育み社会で支え る子育て・子ども支援	2項目が順調では 評価理由 ないと考えられるた 今後に期待したい	
7	8	9
	ファミリーサポートセンター 会員登録数	ファミリーサポート事業利用 件数
指標に推移による。		目標値に届いていないため。 ただし、複数の要因が重なってこの数値になったと考えられる。



(5) 子ともも大人も心と体 の健康づくり 17 (^-^) 順調

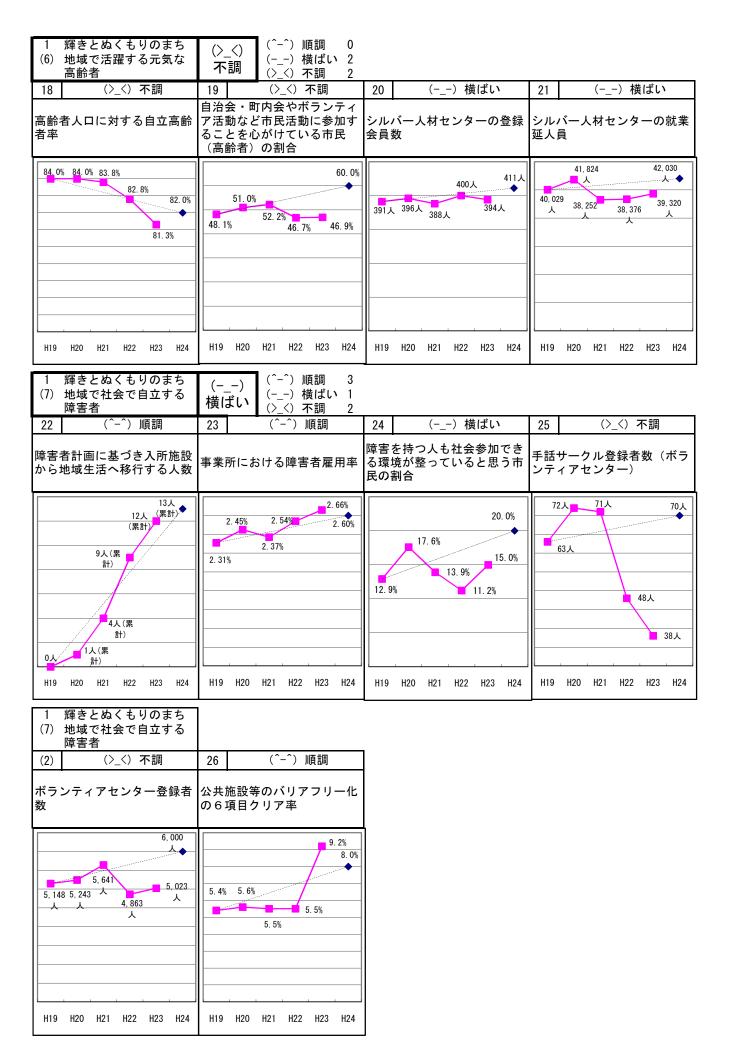
自殺死亡率 (人口10万人対)



(4)	輝きとぬくもりのまち 次代を担う子どもの成 長を支える学校教育	評価		すべての指標を順	調と	評価したため。	
10		11			12		
	もが地区でのびのびと ていると思う市民の割合	耐用组	耐用年数を超える学校数			基準を満たす学校数	
指	標の推移による。		用年数を ったため	E超える学校が0		べての学校が耐震基準を したため。	
		10.6	J 12120J	,	/III] / _	0/2/2000	
]

1 (5)	輝きとぬくもりのまち 子どもも大人も心と体 の健康づくり	評価	理由	からだや心が健康 の実状から判断し#			D割合は横ばい	だが、	がん死亡率の増加など
13		14			15			16	
からき割合	だが健康だと思う市民の	心がイ	建康力	ざと思う市民の割合	健康	づくりサー	-クル会員数	がんタ	死亡率(人口10万人対)
た 計や 割合	標の推移による。だし、年代別の調査・集だし、年代別の調査・集、健康でないと思う人の(年度ごとの変化)も指すべきと考えられる。	た 人の	だし、 割合	推移による。 健康でないと思う (年度ごとの変化) けべきと考えられ	康 で 民 な る。	くり課所管 、青少年1 場所にある	ナークルは、健 は以外でも、公 なーム等いろいると考えられ りの指標が必	たが 他の#	漂の推移による。 だし、がんだけでなく、 病気のデータも必要でま それも指標にすべきとま れる。

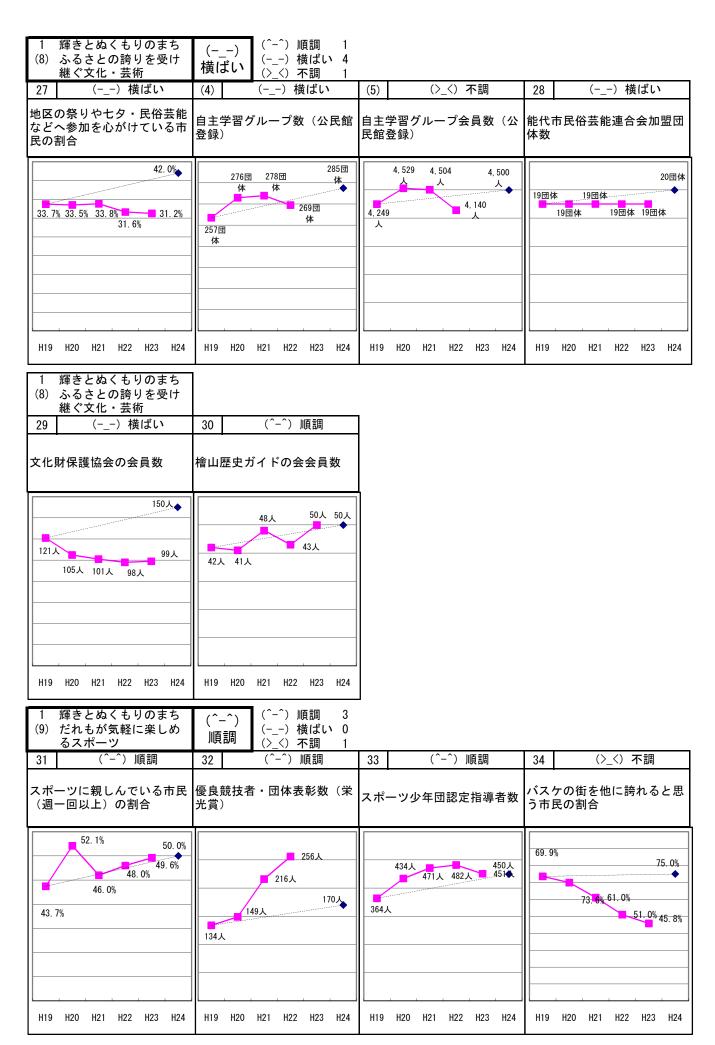
4 300 5 5 7 4 5 7 5 7 5 7
1 輝きとぬくもりのまち
(5) 子どもも大人も心と体
の健康づくり
17
-
自殺死亡率(人口10万人対)
W 15.1 W 5 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2
数値は順調だが全国の水準
からすればまだまだである。



 輝きとぬくもりのまち 地域で活躍する元気な 高齢者 	4つの指標のうた 評価理由 して不調と判断した	5、2つは横ばいだが、2つは [;] こ。	不調であることから、全体と
18	19	20	21
高齢者人口に対する自立高齢者率	自治会・町内会やボランティア活動など市民活動に参加することを心がけている市民 (高齢者)の割合	シルバー人材センターの登録 会員数	シルバー人材センターの就業延人員
指標の推移による。 すべりおちている感じがす る。	目標値から離れてきている。 また、基準値よりも低いでいるため。 また、あのかかではないでは、 実際に参要のではないである人の中で60大の中で60大の中で60大の中で60大の中で60大のから、		指標の推移による。

1 (7)	輝きとぬくもりのまち 地域で社会で自立する 障害者	評価	理由	指標によっては目 ものもあると考えら		達成しているように見え <i>。</i> ため。	るが目	目標値の設定が低かった
22		23			24		25	
	者計画に基づき入所施設 地域生活へ移行する人数	事業	折にお	おける障害者雇用率		児が登つているとぶり巾		サークル登録者数(ボラィアセンター)
り め。	標を達成しつつあるた	目標を達成しつつあるため。			0 年度が最高で、その後 のレベルまでいっていな め。	く減! 手 ある!	0、21年に対し半数近 少しているため。 話以外の支援グループが とすればそれも指標に加 必要があると考えられ	

1 輝きとぬくもりのまち (7) 地域で社会で自立する 障害者	
(2)	26
ボランティアセンター登録者数	・ 公共施設等のバリアフリー化 の6項目クリア率
個人登録者数を加えても目標値にはほど遠いため。	指標の推移による。 ただし、県平均13.1% (H19 年度)に対して目標値が低す ぎるのではないかと考えられ る。



1 輝きとぬくもりのまち (8) ふるさとの誇りを受け 継ぐ文化・芸術	指標の評価に横は 評価理由	いが多いため。
27	(4)	(5) 28
地区の祭りや七夕・民俗芸能 などへ参加を心がけている市 民の割合	目王字省グルーノ剱(公氏館	自主学習グループ会員数 (公 民館登録) 能代市民俗芸能連合会加盟団 体数
指標の推移による。	一旦上がったものの現在は下がっている。 H19から見て目標数値に近づきつつあるが、ほぼ横ばいのため。	指標の推移による。 高齢化等により個々のグ ループの会員数が減ってい る。 地区ごとに団体は数多くあるものの、5年間数値が変わっていないため。

1 輝きとぬくもりのまち (8) ふるさとの誇りを受け 継ぐ文化・芸術	
29	30
文化財保護協会の会員数	ー 檜山歴史ガイドの会会員数
ニツ井地域は22名から27名にふえている。 目標としている150とは。	指標の推移による。 (講座6回受講でOK)

1 (9)	輝きとぬくもりのまち だれもが気軽に楽しめ るスポーツ	評価	理由	指標の評価に順調が多いため。							
31		32			33			34			
スポ· (週·	ーツに親しんでいる市民 一回以上)の割合	優良競技者・団体表彰数 (栄 光賞)				ーツ少年団認定技	旨導者数		ケの街を他に誇れると思 民の割合		
指	標の推移による。	指	漂の推	移による。	実質	どもの数が減っ ^っ 的な数はもっと(れる。		地	標の推移による。 元チームの勝敗に左右さ いると考えられる。		

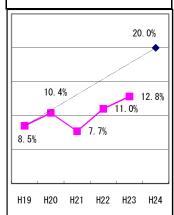
1 輝きとぬくもりのまち (10) 認め合い支え合う社会 づくり

(^-^) 順調 (^-^) 順調 1 (-_-) 横ばい 0 (>_<) 不調 0

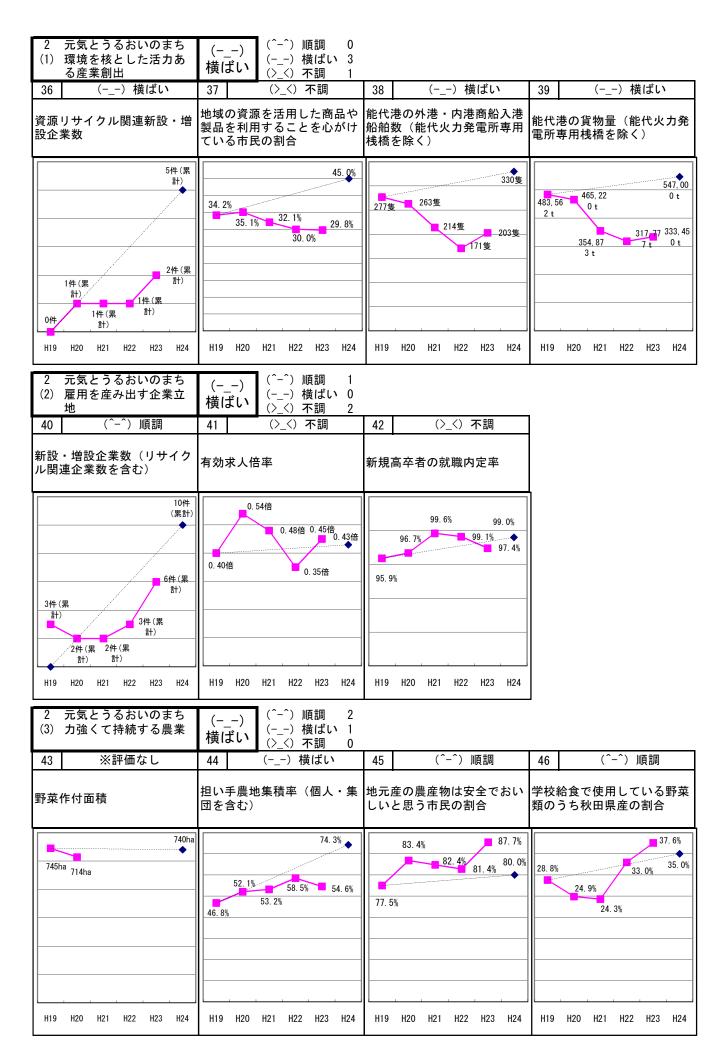
35

(^-^) 順調

一人ひとりの個性や能力を発 揮できる地域になっていると 思う市民の割合



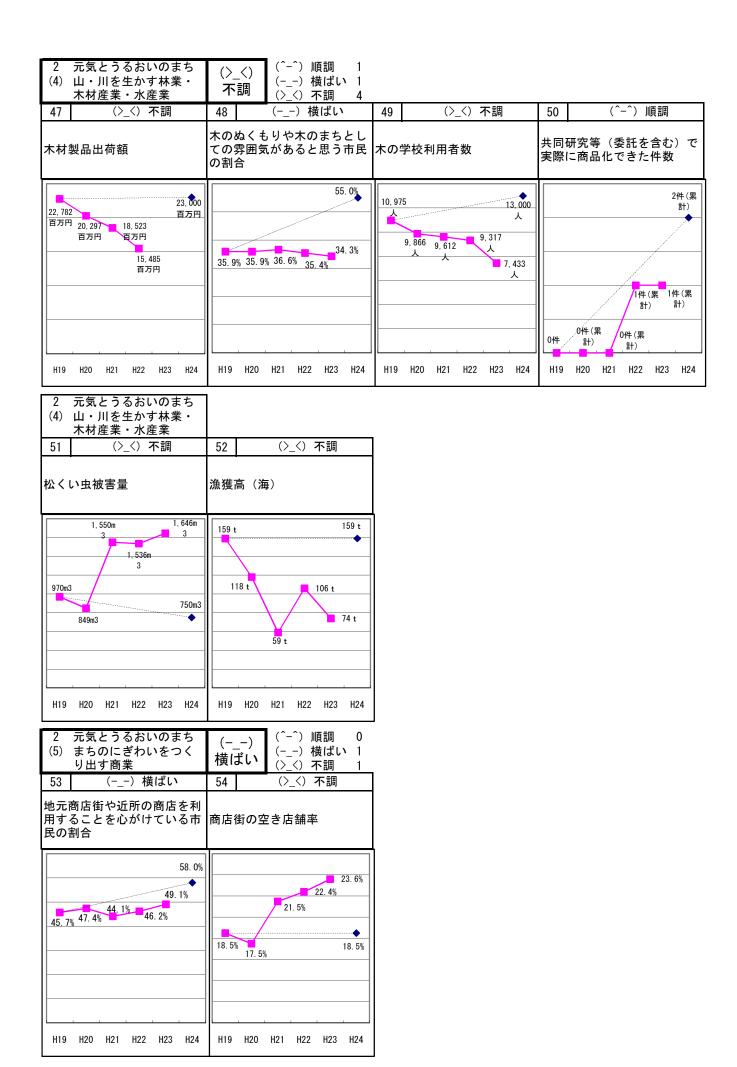
1 輝きとぬくもりのまち (10) 認め合い支え合う社会 づくり	評価理由	指標の評価を順調としたため。
35		
一人ひとりの個性や能力を発揮できる地域になっていると 思う市民の割合		
指標の推移による。		



2 (1)	元気とうるおいのまち 環境を核とした活力あ る産業創出	評価	理由	船舶の港の利用が	が平成21年度くらいまで回復していることによる。						
36		37			38			39			
資源設企業	リザイグル関連新設・増	製品を	を利用	原を活用した商品や 目することを心がけ その割合	船舶				巷の貨物量(能代火力発 専用桟橋を除く)		
	えているが、目標にとど いないため。	市見ため。		意識が低下している		年に比べ21年月 复してきている <i>†</i>		昨 ⁴ ため。	年に比べ回復傾向にある。 ,		

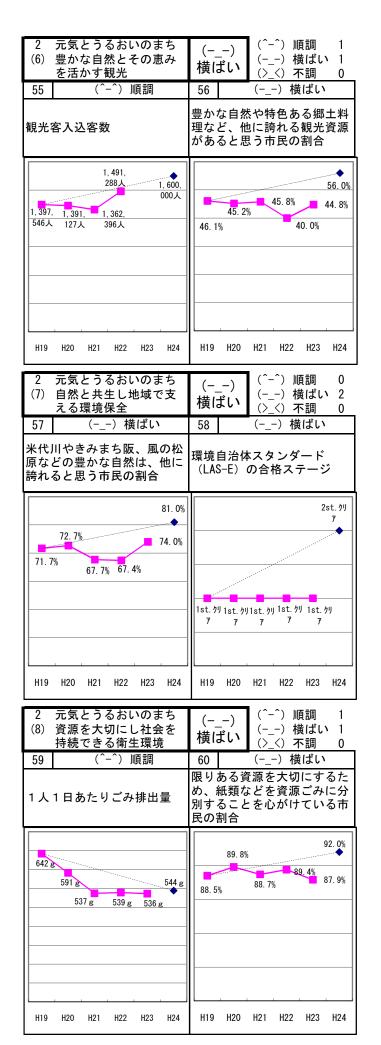
2 元気とうるおいのまち(2) 雇用を産み出す企業立地	新設企業が増加 評価理由	叩している事を評価した。今後に期待したい。
40	41	42
新設・増設企業数 (リサイクル関連企業数を含む)	有効求人倍率	新規高卒者の就職内定率
新設企業数が目標にはとどいていないが、指標の上昇カーブに近づいている。		率 り人数が重要であると判断し

(3)	元気とうるおいのまち 力強くて持続する農業	評価	理由	良いきざしはある	るが、魅力的な農業になっていないと考えられるため。						
43		44			45			46			
野菜	作付面積	担い [。] 団を		也集積率(個人・集		産の農産物I と思う市民の			給食で使用している野菜 うち秋田県産の割合		
指	標の数値がないため。	全	本とし	接による。 たと昇傾向にある たきな変化はない。	本して		が大きく上昇	Ē.	標の推移による。 昇傾向にあり、目標値も アしているため。		



2 (4)	元気とうるおいのまち 山・川を生かす林業・ 木材産業・水産業	評価	理由	指標の評価に不調が多いため。							
47		48			49				50		
木材	製品出荷額		雰囲気	りや木のまちとし いがあると思う市民	木の	学校	利用者数			研究等(委託を含む)でに商品化できた件数	
	標の推移による。 荷額が大きく減少してい			o 大きく変化がない	利 等に ある	用者 より ほか	利用者が	や交通の便 減少傾向に の利用が減	目	標の推移による。 標にはとどいていないが は上昇傾向にある。	

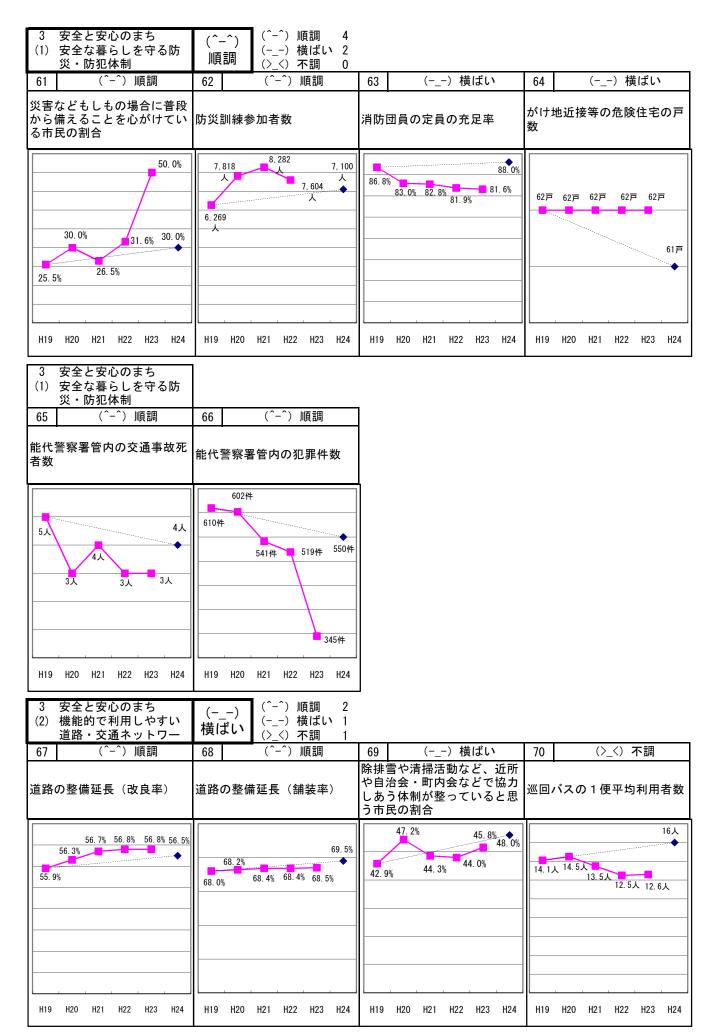
2 (5)	元気とうるおいのまち まちのにぎわいをつく り出す商業	評価	理由	振興券の利用 [・] ため。	で、	地元の商店を利用する傾向が見えてきていると感じられる
53		54				
	商店街や近所の商店を利 ることを心がけている市 割合	商店	街の3	2き店舗率		
元じ開りで	興券の利用で前よりは地 関がよくなのででいるといる れるものの、きがあっていないときがあるのの、きが等の で代はは品薄だを利用しまでが、 で代さればいる。			iが増えていて、 ついていない。	活	



2 元気とうるおいのまち(6) 豊かな自然とその恵み を活かす観光	意識を高めようとする試みがある。 評価理由 年齢によって観光ルートが違っていることがあげられる。
55	56
観光客入込客数	豊かな自然や特色ある郷土料 理など、他に誇れる観光資源 があると思う市民の割合
	グループ団体の活動が盛ん

2 元気とうるおいのまち (7) 自然と共生し地域で支 える環境保全	評価理由	市民の関心が高まってきており、利用する人も多くなってきているが、環境活動はもっと多くの市民が協力したほうが良いと判断したため。							
57	58								
米代川やきみまち阪、風の松原などの豊かな自然は、他に誇れると思う市民の割合		本スタンダード の合格ステージ							
きみまち阪や風の松原は利用する人が多くなってきているがまだまだPR不足である。		能移による。 ♪の取り組み。							

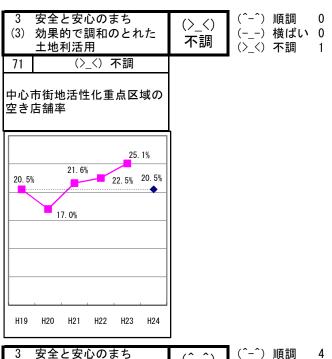
2 元気とうるおいのまち (8) 資源を大切にし社会を 持続できる衛生環境	市民の意識は高いが、分別の種類が増え、複雑になったため数値が下がった評価理由と考えられるため。
59	60
1人1日あたりごみ排出量	限りある資源を大切にするため、紙類などを資源ごみに分別することを心がけている市 民の割合
指標の推移による。 わずかではあるが、下がっ てきている。	市民の意識は高いと思われるが、総合計画策定時に比べ 分別の種類が増えたこともあり、数値は下がっているが横 ばいだと感じられる。 アンケートの文章表現が悪 いと考えられる。

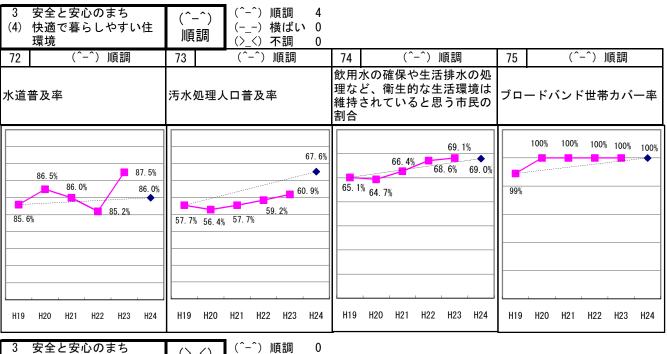


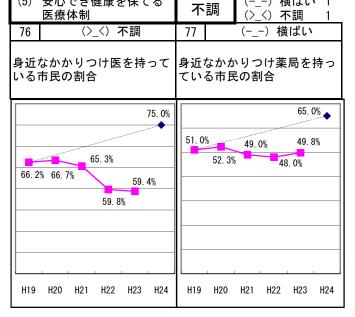
3 (1)	安全と安心のまち 安全な暮らしを守る防 災・防犯体制	評価	理由	指標の評価に順調が多いため。								
61		62			63		64					
から	などもしもの場合に普段 備えることを心がけてい 民の割合		訓練参	ទ 加者数	消防	団員の定員の充足率	がけ 数	地近接等の危険住宅の戸				
順本大	標の推移による。 調な要因としては、東日 震災の影響による部分も と考えられる。	順 地区	調な要 水防訓		上っ (88. (更	員の減少により充足率 ているのではないか。 6%) に職域(事業所)も加入 こともある。	支危	標の推移による。 援制度のPRが必要。 険住宅であることを知ら。				

	_
3 安全と安心のまち (1) 安全な暮らしを守る防 災・防犯体制	
65	66
能代警察署管内の交通事故死 者数	能代警察署管内の犯罪件数
指標の推移による。 O をめざしたい。	指標の推移による。 自主防犯等が必要と考えら れる。

3 安全と安心のまち (2) 機能的で利用しやすい 道路・交通ネットワー	評価	4 つの指標のうち 理由 から、全体として植		つは順調だが、1つは横 と判断した。	ばい、	1つは不調であること
67	68		69		70	
道路の整備延長(改良率)	道路0	の整備延長(舗装率)	や自 しあ	雪や清掃活動など、近所 治会・町内会などで協力 う体制が整っていると思 民の割合	巡回。	バスの1便平均利用者数
指標の推移による。 現状にあった目標値を設定 すべきと考えられる。	現物	と考えられる。	め。 町 る。 そ	標値に達していないた 内の協力体制は整ってい の年の積雪状況によって も変化する。	利 では の目	標の推移による。 用年代の人口減もあるの ないか。また、巡回バス 的が変わってきているの ないか。







 $(\geq _{<})$

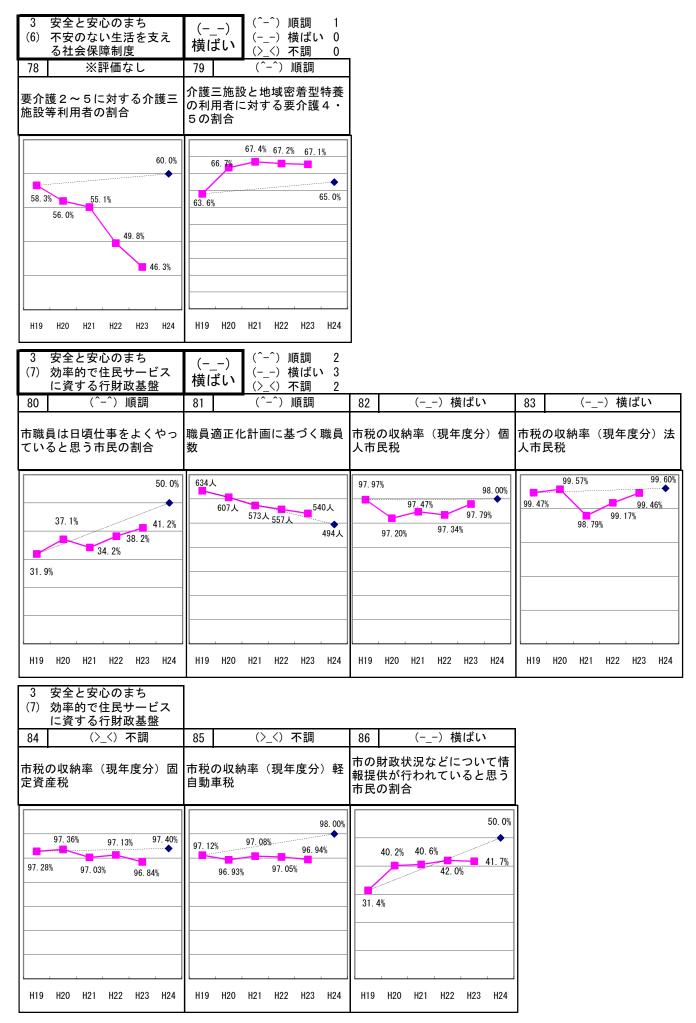
(-_-) 横ばい 1

(5) 安心でき健康を保てる

3 安全と安心のまち (3) 効果的で調和のとれた 土地利活用	評価理由	指標の評価を不調としたため。
71		
中心市街地活性化重点区域の 空き店舗率		
指標の推移による。 時代の流れで、中心市街地 に住む人がいなくなったので は。 まちなかにスーパー(食品) がなくなった。		

3 (4)	安全と安心のまち 快適で暮らしやすい住 環境	評価	理由	すべての指標を川	調と	したため。		
72		73			74		75	
水道	普及率	汚水	処理人	、口普及率	理な	水の確保や生活排水の処 ど、衛生的な生活環境は されていると思う市民の	ブロ・	ードバンド世帯カバー率
	盤(北東部)地区が完了し とによる。			向能代地区が計画 いでいることによ	指	標の推移による。		標の推移による。 後は光回線が目標に。

3 安全と安心のまち 「不調」という評価がひとつでもあれば、それ以上の評価ができないと判態にある。 76 対応なかかりつけ医を持っている市民の割合 77 対応できないと判断を持っている市民の割合 言葉の定義を含めて広告(PR)が必要。そのことが「地域医療体制の再構築」にもつながる。 「三葉の定義を含めて広告(PR)が必要。そのことが「地域医療体制の再構築」にもつながる。				
身近なかかりつけ医を持って いる市民の割合 言葉の定義を含めて広告 (PR)が必要。 そのことが「地域医療体制	(5) 安心でき健康を保てる		i がひとつでもあれば、	それ以上の評価ができないと判断
いる市民の割合ている市民の割合言葉の定義を含めて広告 (PR)が必要。 そのことが「地域医療体制言葉の定義を含めて広告 (PR)が必要。 そのことが「地域医療体制	76	77		
(PR) が必要。 (PR) が必要。 そのことが「地域医療体制 そのことが「地域医療体制 (PR) が必要。				
	(PR)が必要。 そのことが「地域医療体制	(PR)が必要。 そのことが「地域医療体制		



3 安全と安心のまち (6) 不安のない生活を支え る社会保障制度	評価理由 い」とする。	にはデータが少ないが「順調」があるので全体として「横ば
78	79	
要介護 2 ~ 5 に対する介護三 施設等利用者の割合	介護三施設と地域密着型特養 の利用者に対する要介護4・ 5の割合	
この指標が在宅介護の推進という大前提に近づいているかを判断するデータとは言えないと考えたため。 ※認定数が増えているが利用者が変わらない。 (施設は増えていない)	介護度の高い人が利用して いるということになるため。	

3 (7)	安全と安心のまち 効率的で住民サービス に資する行財政基盤	評価	順調が2つ、不調が2つ、横ばいが3つとなっているため。 理由									
80		81					82			83		
	員は日頃仕事をよくやっ ると思う市民の割合	職員	適正化	:計画(に基っ	づく職員	市税(人市)		(現年度分)個	市税(人市)	 (現年度分)	法
指	標の推移による。	含ま;	れてし えなし	るたる	め、数	D職員もに 対値かっ	がっ		いてないが、下 けではないた		 いてないが、 けではないた	-

3 安全と安心のまち (7) 効率的で住民サービス に資する行財政基盤		
84	85	86
市税の収納率(現年度分)固 定資産税	市税の収納率(現年度分)軽 自動車税	市の財政状況などについて情報提供が行われていると思う市民の割合
数値的には、大きな変化はないが、目標から遠ざかっている。	数値的には、大きな変化はないが、目標から遠ざかっている。	目標値から離れているため。 ただし、意識調査の数値が 実態とかけ離れているように 感じられる。